



## まちづくり活動のPRを

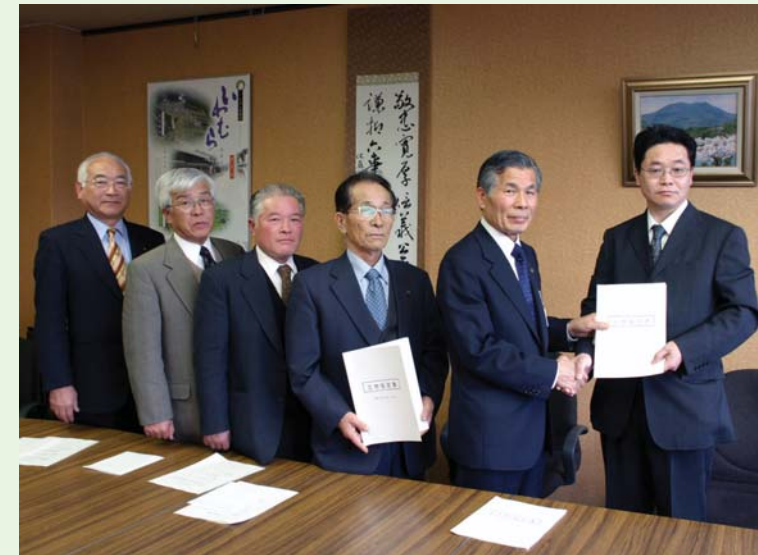
3月4日、市共同福祉会館で第11回恵那市まちづくり市民活動推進助成事業活動報告会が開催され、市内25のまちづくり助成団体が参加しました。今回は、活動別の分科会として歴史・文化・環境・地域づくり・子育てに分かれ、活動の問題点や課題を話し合い、全体会で発表しました。活動のPR不足は広報紙を利用したり、研修は市の担当部局と協力したりするなど、活動の活性化について積極的な意見が出されました。

◀各部会で活動報告や問題点を真剣に話し合う参加者

## 旧家で祝うひな祭

3月6日、中山道ひし屋資料館で「ひな祭り展」の特別イベントとして「ちびっこ音楽祭」が行われました。この音楽祭は、毎年、市内各地域に伝わるひな人形を飾る「ひな祭り展」と合わせて開催しており、今回は、大井町の人形が飾られたことから、大井幼稚園年長児41人が「うれしいひな祭」や「春が来たんだ」など時節に合った5曲を披露。昔の土びなや懐かしいひな人形が並ぶ旧家に、かわいらしい歌声が響きわたりました。

合唱を披露する園児（中山道ひし屋資料館）▶



## 定住人口増加に期待

昨年6月、進出企業に固定資産税と都市計画税の相当額を5年間払い、また市民を新規採用した場合は1人当たり30万円を交付することなどを定めた「企業立地等促進条例」を制定。今回、自動車部品などの製造を行うユニオン機工が条例適用の対象となり、市で初めての企業進出が決まり2月23日、調印式が行われました。工場は三郷町野井地内に建設され、11月から稼働する予定で、可知市長は「地域活性化の力に」と期待を込めました。

◀調印式でユニオン機工町田社長と握手を交わす可知市長

## 地域学習の成果を発表

2月24日、岩邑中学校で「温故知新」学習発表会が開催され、生徒や保護者など約370人が参加しました。

これは、郷土を見直し、大切に思う心をはぐくもうと初めて行われ、地域の皆さんを講師に招き、全校生徒が岩村に伝わる雅楽や伝統料理からスケート、絵手紙など9コースに別れて学習。地域の史跡を英語で紹介する発表や、弓道、雅楽の説明と実演など地域での触れ合いから得た成果を発表しました。

ステージ上で実際に弓を射り弓道の発表をする生徒ら▶



## 古人に学ぶ人の道

NPO法人「いわむら一斎塾」（堀井将成理事長）では、下田歌子著「女子の修養」の現代語訳本を作成し、市内保育園・幼稚園、小中学校に子どもがいる家庭に配布するよう、8,000冊を市に寄贈されました。「女子の修養」は、明治40年に女子学生の教本として書かれ、現代にも通じる「人の道」が記されています。現代語訳は、岩邑中学校生徒23人が同校の先生の指導を受けながら、総合学習の時間などを使い、1年がかりで行いました。

◀現代語訳「女子の修養」を贈る堀井理事長ら



## 火の用心を心掛けて

3月4日、岩村公民館で平成18年度少年消防隊修了式が行われ、89人の隊員が修了証を受け取りました。伊藤春正消防団長から「火災や地震現場に遭遇したときは、大きな声で周りの人に助けを呼ぶことを忘れないように」と訓示があり、お礼のことばとして西尾舞子副隊長（大井小6年）が「この貴重な体験を一生忘れず、火の用心に心掛けて、火災のない明るい町づくりに努力していきたい」と、さらなる消防意識の向上を誓いました。

◀隊員を代表し修了証の受領を努める西尾舞子副隊長





## 山岡小が最優秀賞に

山岡小学校は、ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールで小学校部門の最優秀賞（文科大臣表彰）を初受賞し、3月13日、個人表彰を受けた児童や校長、教諭らが市役所を訪れ、市長に報告しました。

同校では小学5・6年生の作品11点を選び出品し、全国165校、875作品の中からの受賞となりました。個人部門では、鈴木千夏さん（6年生）が優秀賞に、山口ひかるさん（6年生）が努力賞に選ばれました。

◀受賞の喜びを報告に訪れた山岡小学校の児童・教諭ら



## 卒業の記念に植樹

3月8日、東野小学校6年生の児童15人が、卒業を前に保古ノ湖湖畔で卒業記念植樹を行いました。この植樹は、東野生産森林組合（光岡克昌組合長）の協力を得て毎年実施しています。児童代表の西尾聡さん、鈴木春菜さんが「木が成長すると共に、自分たちも成長し羽ばたきたい」とあいさつをし、『とんぐわ』や『スコップ』の使い方を組合員に教えてもらいながらネムノキ、ヤマボウシ、カツラの苗木45本を植えました。

◀東野生産森林組合員らに苗木の植え方を教わる児童

## 大正村を1,624人が疾走

3月18日、第23回日本大正村クロスカントリーが開催され、県内外から1,624人が参加しました。コースは10マイル、6マイル、2マイルに分かれ、明智商業高校をスタートしたランナーは、大正村を駆け抜けました。ゲストランナーには、日本人女性として初めて2時間30分の壁を破った宮原美佐子さんを迎え、参加者を激励しながらマラソンに参加。閉会式ではお楽しみ抽選会が行われ、会場は終始多くの人でにぎわいました。

寒空の下、元気にスタートするランナーたち▶



## 中山太鼓の心受け継ぐ

3月9日、串原中学校卒業式に合わせ、中山太鼓の免許状授与式が行われ、同太鼓保存会大島二三会长から卒業生7人に免許状が贈られました。式典では、卒業する部員が力強い太鼓を打ち鳴らしたほか、生徒全員で息の合った演奏を披露しました。

太鼓リーダーの三宅美涼さんは、他の学校との交流会や地域の文化祭での演奏など、さまざまな経験から伝統を受け継ぐ責任の重さや太鼓の楽しさを学んだことを話しました。

卒業生の気迫のこもった太鼓演奏に聞き入る在校生▶



## 大切に使いたい体育館

明智小学校で40年間使用された屋内運動場の老朽化により、合併前から計画されていた新屋内運動場の建設が終了し、3月20日、全校児童および自治会やPTA関係者が完成を祝いました。式典では、児童が「新しい体育館を作ってくれてありがとう」と、建設工事に携わった業者へ感謝の気持ちを込め、花束の贈呈を行いました。また感謝のことばとして「みんなで大切に使いたい」と述べた後、児童全員が元気に校歌斉唱を行いました。

◀2年、4年、6年の児童代表が感謝のことばを述べた



## 画家・西尾楚江作品を寄贈

長島町久須見出身の画家・西尾楚江（1871～1938）の掛け軸「德音寺雪景」が3月13日、楚江のおいにあたる西尾美智造さんから市に寄贈され、ひし屋資料館で贈呈式が行われました。この掛け軸は、幅190㍍・長さ170㍍と大型で、楚江が得意としたふっくらとした雪の質感や物静かな風景が描かれています。これまでに、岐阜県美術館で展示されたこともあり、ひし屋資料館では、秋から冬にかけて展示される予定です。

◀西尾さん⑧から作品の説明を受ける可知市長